

V. 資料

平成〇年〇月〇日

病院長様

山形大学 助教 齋藤深雪
山形大学 准教授 鈴木英子

精神科デイケア通所者の生活機能に関する調査のお願い

拝啓 時下、貴職におかれましては、益々ご清栄のことお慶び申し上げます。

障害者自立支援法の改定により、精神障害者の生活支援が促されていますが、その方法に賛否両論があります。このたび、厚生労働省から研究費の助成を受け、政策に結びつけていくための調査を始めることになりました。

そこで、全国の精神科デイケア通所者について「精神科デイケア通所者の生活機能に関する調査」を行いたいと考えております。今回は、調査計画などをお送りさせていただきました。本調査は、精神科デイケア通所者の生活機能を把握する尺度の信頼性と妥当性を検証し、通所者の生活機能の実態を把握することを目的としております。今後もこの調査を継続していくことで、精神科デイケアが通所者の生活機能を向上させる効果を明らかにできることから大変有意義なものであると考えております。

調査の内容は、通所者にご自身の生活に関することをお聞きすることです。お聞きした内容はデータとして調査に使用させていただきます。学会などで調査結果を公表しますが、個人や施設が特定されないように配慮いたします。なお、調査に関しましては厚生労働省の臨床研究に関する倫理指針にもとづき、細心の注意を払いことをお約束いたします。

調査にご協力いただける場合には、承諾書に記入いただければ幸いです。お忙しい中恐縮ではございますが、依頼の趣旨をご理解頂き、同封した返信用封筒をお使いになり、**「調査実施の承諾書(調査実施者控)」と「精神科デイケア通所者の生活機能に関する調査についての回答」を〇月〇日まで**ご送付くださいますようお願い申し上げます。また、ご協力いただけない場合は「精神科デイケア通所者の生活機能に関する調査についての回答」のみをご送付くださいますようお願い申し上げます。ご返事お待ち申し上げます。

敬具

記

同封資料

- ①調査計画書
- ②質問紙
- ③調査への参加依頼・説明書（第1回目）
- ④調査への参加依頼・説明書（第2回目）
- ⑤調査実施の承諾書
- ⑥精神科デイケア通所者の生活機能に関する調査についての回答
- ⑦返信用封筒

以上

連絡先 〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2 山形大学医学部
齋藤深雪(さいとう みゆき)
TEL&FAX 023-628-5449
E-mail imiyuki@med.id.yamagata-u.ac.jp

調査計画書

課題名:精神科デイケア通所者の生活機能に関する研究

主任研究者 山形大学医学部看護学科 臨床看護学講座 助教 齋藤深雪
分担研究者 山形大学医学部看護学科 臨床看護学講座 准教授 鈴木英子

1. 研究の背景と目的

厚生労働省は、入院医療中心から地域における保健・福祉・医療を中心とした施策を推進している。精神保健福祉対策上では、精神障害者のリハビリテーションの目標は「生活の完全な自立」である。一方、最近の臨床専門家の中では、精神障害者のリハビリテーションの目標を「サービスを受けながら社会で生活すること」へと現実的な目標へ変化しているが、精神科病院への入院日数が長いことや精神障害者の社会生活を支えるサービスや体制の不十分さが問題になっている。

精神科デイケア(以下、デイケアとする)は、再入院の予防や症状安定などの医療の提供と、生活技能を身につけるなどの生活のサポートを行っている。デイケアは全国に約 1000 箇所あり、精神障害者からのニーズも高い。そのデイケアではデイケア通所者の固定化、高齢化が問題になり、今後のデイケアのあり方について模索している。

これまでは、精神障害者の社会生活を維持していく能力を把握することが困難であった。2001年に世界保健機構(WHO)から発表された国際生活機能分類¹⁾によって、「社会で生活すること」を生活機能という側面から捉えられることが提言された。国際生活機能分類は世界中から期待されているが、具体的な活用方法については使用者にゆだねられている状況である。

本研究の目的は、国際生活機能分類を活用し、デイケア通所者の生活機能を把握する尺度を開発することと、デイケア通所者の生活機能の実態を把握することである。デイケア通所者を対象に、生活機能に関するアンケート調査を行い、生活機能を把握する尺度の信頼性と妥当性を検証し、生活機能の実態を把握する。

2. 研究方法

1) 研究対象者および実施場所

研究対象者 診断名が統合失調症である精神科デイケア通所者 700名

実施場所 日本精神科病院協会に加盟している病院に付設する精神科デイケア(830施設)のうち、各都道府県の病院付設型精神科デイケアから無作為抽出した47施設

2) 方法および調査期間

方法 郵送法による質問紙調査である。再テスト法(2回調査を行う)を実施する。

2回の調査とも同じ質問紙を使用し、その内容は以下である(別添1)。

①通所者の背景：年齢、性別など。

②生活機能：生活機能に関する質問(42項目)。

③コミュニケーション能力：アサーティブネス質問票(30項目)²⁾。

調査期間 第1回目の調査：施設から承諾書をいただいてから行う。

第2回目の調査：第1回目の調査から3週間後に行う。

4) データの分析方法

生活機能を把握する42項目の信頼性(ピアソンの相関係数及びクロンバックのアルファ係数)と妥当性(因子分析)を分析する。生活機能について統計的に分析する。

5) 結果の公表予定

関連する学会に発表または投稿する予定である。

3. 倫理的配慮

厚生労働省の『臨床研究に関する倫理指針』に従う。

- 1) 研究への参加・協力は、通所者の自由意思によって行う。
- 2) 研究への参加・協力に通所者が同意した場合であっても、いつでも取りやめることができ、そのことによって不利益を受けないことを保証する。
- 3) 通所者への質問紙の配布と回収は、病院長を介して主任研究者が郵送法で行う。封筒を厳封した状態で回収する。通所者に封筒を厳封した状態で回収箱に提出するよう依頼し、通所者のプライバシーを保護する。
- 4) 回収されたデータは施錠可能な場所に厳重に保管する。
- 5) 学会や論文で研究成果を発表する場合は、個人および施設名が特定されないよう匿名にし、プライバシーの保護に努める。研究成果を発表した段階でデータを破棄する。

4. 同意の手続き

- 1) 病院長に研究の協力を依頼し、同意を得る。同意の得られた病院付設型精神科デイケアに対して、病院長を通して通所者に協力を依頼する。その後、通所者に研究の目的、方法を文書で説明する。
- 2) 通所者が研究に同意する場合は、質問紙に回答していただき、それをもって同意を得たこととする。

5. その他

- 1) 施設によって倫理審査が必要な場合には、対象施設の倫理審査委員会の承認を得る。
- 2) 本調査は平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金の助成(課題番号H19-障害-若手-002)を受け、実施されるものである。

6. 文献

- 1) WHO : ICF国際生活機能分類—国際障害分類改訂版—。2003, 中央法規。
- 2) 鈴木英子, 叶谷由佳, 石田貞代, 香月毅史, 佐藤千史 : 日本語版 Rathus assertiveness schedule開発に関する研究。日本精神保健福祉学会10(2), 2003, 19-29。

7. 添付書類

- 別添 1 質問紙 (第 1 回目調査と第 2 回目調査の共通)
別添 2 調査への参加依頼・説明書 (第 1 回目)
別添 3 調査への参加依頼・説明書 (第 2 回目)

「生活機能」調査

この調査は、あなたがどのような生活をお過ごしになっているかを知るために行います。

ご回答いただいた内容について、個人のプライバシーは厳重に保護し、統計的に処理するため、ご迷惑をおかけすることはございません。

ご多忙中お手数をおかけしますが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

添付の封筒に入れ、厳封して、〇月〇日まで回収箱に入れてください。

質問紙をお書きになった日をお書きください。

ご記入日	月 日
------	-----

質問紙についてのお問い合わせは下記にご連絡ください。

〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2 山形大学医学部看護学科

齋藤深雪(さいとうみゆき)

TEL/FAX 023-628-5449

1. あなたについてお聞きします。各質問の当てはまる番号に○をつけるか、数字をお書きください。

問1 あなたと母親の生年月日はいつですか。

あなた 昭和()年()月()日

母親 昭和()年()月()日

問2 何歳ですか。 () 歳

問3 性別は何ですか。 1. 男性 2. 女性

問4 同居している人はいますか。 1. いる 2. いない

問5 主に食事を作る人は誰ですか。 1. 自分 2. 自分以外の人

問6 主に掃除をする人は誰ですか。 1. 自分 2. 自分以外の人

問7 主に洗濯をする人は誰ですか。 1. 自分 2. 自分以外の人

問8 デイケアまではバスや電車を利用しますか。 1. 利用する 2. 利用しない

問9 現在のデイケアに通所されて何年何ヶ月になりますか。 () 年 () ヶ月

問10 最近1ヶ月間に通所した日は何回ですか。 () 回

問11 通所目的は何ですか。当てはまる番号すべてに○をしてください。

1. 規則正しい生活をするなどの生活をする力をつけるため
2. 家族や友人などの周囲の人達とうまく付き合うため
3. 症状のコントロールや症状悪化時の対処をできるため
4. 自分なりの生きがいや目標をもつため
5. 友人や相談できる人などの信頼できる人を見つけるため
6. 自分の生活を楽しめるため
7. 自分らしく生活するため
8. その他 ()

問12 現在のデイケア以外のデイケアに、これまで通所したことはありますか。

1. ある
2. ない

2. あなたの最近1ヶ月以内の関心の程度をお聞きします。各質問の当てはまる番号1つに○をつけてください。

		関心が ない	どちらかと 言えば 関心がない	どちらかと 言えば 関心がある	関心が ある
問1	外出すること	0	1	2	3
問2	温泉やデパートなどの施設	0	1	2	3
問3	市町村の広報誌	0	1	2	3
問4	テレビやラジオのニュースや時事問題	0	1	2	3
問5	ゴミの収集場所や収集日時	0	1	2	3
問6	新しいことや初めて体験すること	0	1	2	3
問7	友人の話	0	1	2	3
問8	友人とうまく付き合っていくこと	0	1	2	3
問9	周囲の人達同士の間人間関係	0	1	2	3
問10	知り合いが困っている場合	0	1	2	3
問11	家族のこと	0	1	2	3
問12	家族とうまく付き合っていくこと	0	1	2	3
問13	仕事(勉強)すること	0	1	2	3
問14	働けそうな職業(進学できそうな学校)	0	1	2	3
問15	今後の生活(1ヵ月後)	0	1	2	3
問16	将来のこと(5年後)	0	1	2	3
問17	自分のこと	0	1	2	3
問18	毎日の生活を楽しく過ごすこと	0	1	2	3
問19	野球やサッカーなどのスポーツ	0	1	2	3
問20	絵画, 音楽, 映画などの芸術	0	1	2	3
問21	テレビやラジオの娯楽番組	0	1	2	3
問22	余暇や趣味	0	1	2	3
問23	冗談や冗談話	0	1	2	3
問24	相手を楽しませること	0	1	2	3

3. あなたの最近1ヶ月以内の行動の自立度をお聞きします。各質問の当てはまる番号1つに○をつけてください。

		できない	どちらかと言え ばできない	どちらかと言え ばできる	できる
問1	新聞記事の理解	0	1	2	3
問2	会話の理解	0	1	2	3
問3	電話での連絡	0	1	2	3
問4	会話の切り上げ	0	1	2	3
問5	必要に応じた会話の選択	0	1	2	3
問6	話し相手の立場を考えて話すこと	0	1	2	3
問7	髪を清潔に保つこと	0	1	2	3
問8	場所にふさわしい服装の選択	0	1	2	3
問9	規則正しい食事の摂取	0	1	2	3
問10	計画的なお金の使用	0	1	2	3
問11	必要に応じた衣類の洗濯	0	1	2	3
問12	必要に応じた公共の乗り物の利用	0	1	2	3
問13	指示された通りの服用	0	1	2	3
問14	精神科病院への定期的な受診	0	1	2	3
問15	調子が悪いことを伝えること	0	1	2	3
問16	過去の体験や出来事を参考にすること	0	1	2	3
問17	天気や気温に応じた衣服の調節	0	1	2	3
問18	バランスのよい食事の摂取	0	1	2	3

4. 以下の項目があなたにどの程度当てはまるかを次の指示に従って教えてください。右側の番号のどれか一つに○をしてください。

- +3 まさにわたしの特徴そのものであり、きわめて当てはまる。
- +2 かなりわたしの特徴に近く、かなり当てはまる。
- +1 どちらかというとなわたしの特徴に近く、どちらかと言えば当てはまる。
- 1 どちらかというとなわたしの特徴と異なり、どちらかと言えば当てはまらない。
- 2 かなりわたしの特徴とは異なり、当てはまらない時の方が多い。
- 3 まったくわたしの特徴とは異なり、まったく当てはまらない。

1. ほとんどの人は、私よりもっと押しが強く自分の考えを表現しているようである。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
2. 私は、恥ずかしがりやなので、デートに誘ったり誘われたりするのをためらったことがある。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
3. レストランで出された食事に満足できなかったとき、私は、ウェーターやウェイトレスに苦情を言う。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
4. 私は、たとえ自分が傷つけられていると感じた時でさえも、他の人の感情を傷つけないように気をつかう。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
5. セールスマンが私にとって全く適さない商品を見せようとかかなり努力している場合に、私は「いりません」と断るのが大変だ。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
6. 何かをするように頼まれたとき、何故かを知りたいと主張する。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
7. 私は、有意義で活発な論議をしたいと思うときがある。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
8. 私は、たいていの人と同じように、自分の置かれた状態で成功するように努力を惜しまない。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
9. 正直言って、人は私をしばしば利用する。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
10. 私は、知り合ったばかりの人や、知らない人に自分から話しかけるのが好きである。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
11. 私は、魅力的な異性に対して何を言ってよいかしばしばわからなくなる。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
12. 私は、仕事で営業所や社会的機関に電話をするのをためらう。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
13. 私は、就職や入学を希望するとき、個人面接よりもむしろ書類審査で申請する。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
14. 私は、購入した品物を返品することには気恥ずかしさをおぼえる。	+3 +2 +1 -1 -2 -3
15. 親密で尊敬している親戚が私を悩ませたら、私は、困っていることを伝えるよりもむしろ気持ちを抑える。	+3 +2 +1 -1 -2 -3

16. 私は、何か疑問があっても馬鹿だと思われるのが恐くて、質問できなかったことがある。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
17. 口論しているときに、私は動揺しすぎて、体が震えるのではないかと心配になることがある。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
18. 著名で尊敬されている講演者が間違った発言をしている場合には、私の意見もみんなに聞いてもらう。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
19. 私は、店員やセールスマンと値段の交渉をすることは避ける。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
20. 私は、何か重要で価値があると思われることを成し遂げた場合には、何とかして他の人にもそのことを知ってもらう。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
21. 私は、自分の感情を隠さずに率直に表現する。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
22. もし私についてのうそや悪口を言い触らしている人がいたら、そのことについて話し合うためにできるだけ早く会う。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
23. 私は、しばしば「いや」と言いにくいことがある。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
24. 私は、自分の感情を外に出すより、むしろ抑える方だ。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
25. 私は、レストランなどでサービスが悪いときには苦情を言う。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
26. 私は、人にほめられた時に、何といたらよいか時々わからなくなる。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
27. 劇場や講演で自分のそばのカップルがかなり大きな声で話をしていたら、私は、彼らに静かにするか、他の場所で話をするように頼むだろう。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
28. 並んでいる自分の前に割り込む人がいたら、文句を言って当然だ。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
29. 私は、すぐに意見を言うほうである。	+3	+2	+1	-1	-2	-3
30. 私は、ただ何も言えなくなることがある。	+3	+2	+1	-1	-2	-3

☆今一度、回答の記入漏れ、重複回答がないかご確認頂ければ幸いです。

本調査表は、日本版 RAS (J-RAS) です。英語版には著作権がありますので、使用の際にはご一報下さい。

Suzuki, E., Kanoya, Y., Katsuki, T. & Sato, C. (2007). Verification of the reliability and validity a Japanese version of the Rathus Assertiveness Schedule. *Journal of Nursing Management*, 15,

ご協力ありがとうございました。

平成 19 年〇月〇日

デイケア通所者の皆様へ

主任調査者 山形大学医学部看護学科 臨床看護学講座 助教 齋藤深雪
分担調査者 山形大学医学部看護学科 臨床看護学講座 准教授 鈴木英子

「生活機能」調査への参加のお願い

皆様はデイケアに参加されていますが、どのような生活をなさっているか知りたく、この調査を計画しました。この調査は、調査に参加することに同意された方の生活について、2回お聞きします。1回目は〇月、2回目は1回目から3週間後にお聞きします。1回目のアンケートに回答していただいた方に2回目のアンケートをお送りします。

アンケートの内容は、生活についての自立の程度と関心の程度、人との接し方、デイケアについてです。1回目のアンケートと2回目のアンケートは同じ内容をお聞きします。

あなたが調査にご参加した場合は、お聞きした内容をデータとして使用させていただきます。お聞きした内容は統計的に取り扱うため、個人が特定されることはありません。また、調査結果を公表する場合はプライバシーに配慮します。

調査への参加はあなたのご自由な意思によるものであり、強制ではありません。調査に参加しなくても、途中で辞退しても、あなたが不利な扱いをうけることはありません。

この調査に関するご質問には齋藤がお答えしますので、下記の問い合わせ先まで何なりとおたずねください。以上のことをお約束いたします。

内容をご理解していただいた上で、調査にご参加いただける場合には質問紙にご回答くださるようお願いいたします。ご回答した後、同封している封筒の封をしっかりと閉じ、〇月〇日まで回収箱に入れてくださるようお願いいたします。

【問い合わせ先】

〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2 山形大学医学部看護学科 臨床看護学講座
齋藤深雪(さいとうみゆき) TEL/FAX : 023-628-5449

平成19年〇月〇日

デイケア通所者の皆様へ

主任調査者 山形大学医学部看護学科 臨床看護学講座 助教 齋藤深雪
分担調査者 山形大学医学部看護学科 臨床看護学講座 准教授 鈴木英子

「生活機能」調査(2回目)への参加のお願い

第1回目の「生活機能」調査にご協力いただき、ありがとうございました。

前回と同じアンケートをお届けします。この調査は、調査の参加に同意された方の生活について、お聞きします。

あなたが調査にご参加した場合は、お聞きした内容をデータとして使用させていただきます。お聞きした内容は統計的に取り扱うため、個人が特定されることはありません。また、調査結果を公表する場合はプライバシーに配慮します。

調査への参加はあなたのご自由な意思によるものであり、強制ではありません。調査に参加しなくても、途中で辞退しても、あなたが不利な扱いをうけることはありません。

この調査に関するご質問には齋藤がお答えしますので、下記の問い合わせ先まで何なりとおたずねください。以上のことをお約束いたします。

内容をご理解していただいた上で、調査にご参加いただける場合には質問紙にご回答くださるようお願いいたします。ご回答した後、同封している封筒の封をしっかりと閉じ、〇月〇日まで回収箱に入れてくださるようお願いいたします。

【問い合わせ先】

〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2 山形大学医学部看護学科 臨床看護学講座
齋藤深雪(さいとうみゆき) TEL/FAX : 023-628-5449

調査実施の承諾書

下記の者が「精神科デイケア通所者の生活機能に関する研究」
の調査を当院で行うことに承諾します。

調査実施者 山形大学 齋藤深雪

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

病院名 _____

病院長 _____ 印

「精神科デイケア通所者の生活機能に関する調査についての回答」

病院名	
-----	--

以下のご質問にご回答くださるようお願い申し上げます。当てはまる番号に○をお書きください。

1. 研究の協力について

- ・「精神科デイケア通所者の生活機能に関する調査」に協力できますか
 - 1) 協力できる
 - 2) 協力できない

- ・協力できる場合、貴院の倫理審査を受ける必要がありますか。
 - 1) 必要がある
 - 2) 必要がない

調査にご協力いただける場合には、以下のご質問にご回答くださるようお願い申し上げます

2. デイケアについて

デイケアへの登録者人数		名
登録者のうち、診断名が統合失調症である通所者の人数		名
デイケアの開設年	昭和・平成	年
デイケアの規模について	小規模デイケア・大規模デイケア	

デイケア名		
住所		
電話番号と FAX 番号	電話番号	FAX 番号

調査のご担当者氏名		
調査のご担当者ご連絡先	電話番号	E-mail

* ご担当者様には、後日、調査の日程などについてご連絡をさせていただきます